

# 教職員が新型コロナウイルス感染症と判明した者と濃厚接触した場合の行動フロー（暫定）

2020年3月19日第3回新型コロナウイルス感染症  
対策本部会議決定  
宮城大学大和・太白事業場衛生委員会

- 新型コロナウイルス感染症の拡散防止のため、「**熱があるけど、風邪だと思っけど…**」などと、体調がすぐれない時は、「**迷わず、出勤をやめ、自宅待機**」してください。

## 新型コロナウイルス感染を疑う主なパターン（出勤禁止）

パターン	チェック項目（パターン別に、□が✓される場合に疑う）
警戒	<input type="checkbox"/> 濃厚接触歴のある者と濃厚接触した <input type="checkbox"/> 2週間以内に渡航していた →自宅待機2週間・体調管理により注意を払う →濃厚接触歴のある者が新型コロナウイルスとの診断が確定したら <a href="#">感染の疑いのある場合のフローへ</a> <input type="checkbox"/> 37.5℃以上の発熱または呼吸器症状を有している →自宅待機し、体調管理を行う（症状が4日以上続く時、基礎疾患がある場合は2日続く時、コールセンターへ）
	1
2	<input type="checkbox"/> 37.5℃以上の発熱または呼吸器症状を有している ↓上記および、以下のいずれかに該当する項目がある <input type="checkbox"/> 自覚症状の出る2週間以内に渡航していた <input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症を疑う者と濃厚接触歴がある <input type="checkbox"/> 濃厚接触歴のある家族と同居している <input type="checkbox"/> 自覚症状の出る2週間以内にクラスターの発生場所に行っていた → <a href="#">感染の疑いのある場合のフローへ</a> →37.5℃以上の発熱と呼吸器症状が4日以上続く（*基礎疾患がある場合は2日続く）、または強い倦怠感や呼吸困難があれば、コールセンターへ連絡する。
3	<input type="checkbox"/> 医師が総合的に判断した結果、新型コロナウイルス感染症を疑う

### 濃厚接触とは

- ✓ 長時間の接触（車内、航空機内などを含む）があった
- ✓ マスクを着用することなく、向き合って15分以上話した
- ✓ マスクを着用することなく、狭い部屋で長時間過ごした（ゼミ、研究指導、打ち合わせなど）
- ✓ マスクを着用することなく、向き合って長時間執務した
- ✓ 手で触れるなどの接触があった

# 教職員から罹患者が発生した場合の連絡体制など

☆37.5℃他の症状がある

- ✓ 出勤しない
- ✓ 自宅で安静にする

基礎疾患がある場合は早目に

通常元気で、症状が軽い場合は、4日間経過観察後に

感染の疑いを自覚

罹患者の疑いの連絡

✓ 職員

✓ 教員

✓ 総務

✓ 学群長

宮城県健康相談窓口  
(コールセンター)  
電話番号 022-211-3883

罹患者確定・入院までの流れ

学群長等所属部署の責任者は以下を行う

- 「出勤停止」を指示する
- 新型コロナウイルス感染の疑いのパターン
- 動線(日時と行動)
- 接触者(誰と会ったか)

- ✓ 学内の濃厚接触者を隔離する
- ✓ 自宅待機にする
- ✓ 健康チェックをする

- 学内の濃厚接触者を特定する
- 学内の汚染エリアを特定する
- 立ち入り制限エリアを判断する

- ✓ 学内の特定エリアを消毒する
- ✓ 学生への感染が想定される場合は、全学休校とする

✓ 学内で情報共有

# 罹患確定・入院までの流れ

